

②-1

一般社団法人日本オオカミ協会 主催

日米オオカミふおーらむ2017

日本の自然の回復と保護を目指して

エコロジスト：スティーブ・フラウンが語る

帰ってきたオオカミ！

増え過ぎたシカを減らし
生態系の回復を実現した
北米イエローストーンの成功物語

日本語



オオカミは怖くない！

2017/10/21(土) ~ 11/12(日)

福岡・熊本・岡山・高知・滋賀

静岡・長野・埼玉・東京



参加費無料(岡山を除く)



主催：一般社団法人日本オオカミ協会 〒415-0531 静岡県賀茂郡南伊豆町伊浜 2687-56
TEL & FAX: 0558-64-8800 wangshang0309@gmail.com <http://www.japan-wolf.org/>

日・米オオカミふおーらむ 2017

日本の自然の回復と保護を目指して

〈スティーブ・ブラウン氏 プロフィール〉



イエローストーン国立公園
公認ガイド【自然生態系講
師歴 20 年以上】マイアミ大
学の生物学・生態学・哲学
科を卒業 交換留学生として
日本へ。その後、オハイオ
州立大学院で日本語、日本
文学修士課程を修め、モン
タナ州立大学では動物学科

等の修士課程を卒業。モンタナ州立大学で約 7 年間イ
エローストーン生態学や日本史を教える。イエロース
トーンを中心にアラスカからカリフォルニアまで多数
の国立公園で自然教育プログラムを手がけ、会社設立
以降 21 年間 4 万人以上の日本人観光客、学生を教育
してきた実績を持つ。日本だけでなく世界中の人々に
野生動物生態や大自然保護管理について教えている。
一般社団法人 日本オオカミ協会学術会員 (Fellow)

イエローストーンの成功例と日本の今後

かつてオオカミを害獣として駆除したアメリカと日本。
その後どちらもシカの増加など生態系に歪みが生じ自然
の荒廃が進みました。22 年前アメリカはついにオオカ
ミの再導入に踏み切り、イエローストーンの自然生態系
は豊かさを取り戻し始めました。対して日本は、シカの
駆除に懸賞金を付けたり、防護フェンスを提供したりし
て湯水のごとく税金をつぎ込み続けています。シビエも
最終的な解決策ではありません。アメリカ・イエロース
トーン 22 年の経験に学び、
日本の生態系保全の今後を
考えましょう。

※日本で絶滅したオオカミは、イ
エローストーンや北米、ユーラシ
アなど北半球に広く生息するハイ
イロオオカミと同じ種です。だか
ら再導入するオオカミは外来種で
はありません。



一般社団法人 日本オオカミ協会

〒415-0531 静岡県賀茂郡南伊豆町伊浜 2687-56

〔熊本会場〕参加の御案内

ぜひお出かけ下さい！

テーマ

『捕食者無き生態系の危機とその対策』

火の国の風土・文化を守る農山村に関心を！
シカの被害に荒れ果てんとする火の国の姿。
オオカミがこれを救う。オオカミを呼び戻せ！

このオオカミは怖くない。かつては地域の守護神として
崇め何世紀にも亘って人々と共存してきた。怖がるうは
ずがない。改めてオオカミの復活を願う。
オオカミ再導入の成功事例に学ぼう！

ご意見・質問歓迎

《基調講演》

米国モンタナ州イエローストーン国立公園のオオ
カミ復活の成功事例を、公認ガイド＝スティーブ・
ブラウン氏が、オオカミ復活の経緯・効果・自然
回復の様子などについて日本語で講演します。

と き 10月22日(日) 13:30～16:00

ところ 熊本県立大学講義棟 1号館 1号教室

熊本県熊本市東区月出3丁目1-100
Tel.096-383-2929

参加費 無料

定員 先着順 100名

連絡先 日本オオカミ協会 九州支部

顧問 小邦 徹

電話：080-1784-2513

E-mail：efg581389@phe.bbq.jp

TEL & FAX: 0558-64-8800

wangshang0309@gmail.com

http://www.japan-wolf.org/